



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 26 No.2500

2014～2015年度 国際ロータリーテーマ



2014～2015年度RI会長 ゲイリーC. K. ホアン

2014～2015年度士別ロータリーのスローガン

「呼び起こそう、輝きを」



- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所／士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
- 会長／宮崎隆雄 ■副会長／北村浩史
- 幹事／坂口芳一

今日のプログラム 第2581回例会 2015年3月2日(月)…〈普通例会〉

■2月23日の記録■ 夜間例会

- 司 会 佐藤元信 会場監督
- 斉 唱 我等の生業
- 本日の出席 会員45名中 出席者45名 出席率100%
- 本日の欠席

- メイクアップ
- ゲ ス ト
- ニコニコBOX

累計254,000円

例 会 予 定

■3月の予定……《識字率向上月間》

- 3月2日(月)／例会・理事会
- 3月9日(月)／例会
- 3月16日(月)／例会
- 3月23日(月)／夜間例会
- 3月30日(月)／特別休会

■4月の予定……《ロータリー雑誌月間》

- 4月6日(月)／例会・理事会
- 4月13日(月)／例会
- 4月20日(月)／夜間例会
- 4月27日(月)／早朝例会

■会務報告宮崎隆雄会長

●季節が1か月前倒したかの様な春の陽気に少々戸惑いを隠せない日々が続いております。

本日は、レストランμをお借りいたしましての移動例会とさせて頂きました。日頃より、サフォークランド土別の地名を全国に向けて発信しておられるしずお農場様には心より敬意申し上げます。また、会場をセッティングして頂いた今井社長はじめスタッフの皆様には、メンバーを代表致しまして御礼を申し上げます。ありがとうございました。

●本日2月23日は、110年前の1905年、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日であり、ロータリーの創立記念日とされております。創立記念日は、また、世界理解と平和の日 (World Understanding and Peace Day) と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を認め合い強調しなければならぬとされております。さらに2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することも決議されております。

この記念すべき本日の例会は、プログラム委員会により織戸パスト会長の卓話を頂ける予定で御座います。どうぞよろしくお願い致します。

■幹事報告坂口芳一幹事

●3月のロータリーレート、1ドル118円という連絡が来ておりますのでご報告申し上げます。

■委員会報告

●クラブ会報委員会田中道也委員長

先日2月9日に市の環境生活課の野村さんから卓話を頂きその内容を会報に載せたんですが、土別RCの会報とはインターネットでも公開するので、個人が特定出来るような内容のものをそのままインターネット上に公開されるのはまずいという事で、文章を訂正させて頂きたいという連絡がきました。後日、修正したデータをホームページに掲載いたします

■本日のプログラム谷 温恵プログラム委員長

今日はロータリー創立記念日ということで、この素敵な場所での素敵な日に織戸会員にロータリーの出会いと絆というタイトルでお話を頂くことになっております。どうぞ宜しくお願い致します。

■会員卓話織戸俊二会員

2月は世界理解月間です。今日2月23日はロータリー創立記念日です。土別ロータリークラブ移動例会ということで滅多に無い日に今日重なりました。在籍チャーターメンバーの百瀬達夫会員も亡くなり、時代の流れが物語っていると感じています。



私が土別ロータリークラブに入会しましたのが還暦の60歳で、幹事経験も無く今日迄16年が過ぎ77歳のロータリアンでございます。会員仲間も大変変わりました。チャーターメンバーの百瀬達夫会員の死亡を始め、会長エレクト伊藤会員のお父さん伊藤忠雄会員、西條会員、山本榮会員外16名の会員が亡くなっています。又退会会員は22名の会員が退会を余儀なくされています。ロータリーの出会いと絆と言うことで少しお話をさせて頂きます。

2001年、私が社会奉仕委員の頃ふれあい広場で障害のある三上昌代さんと言う車椅子生活を余儀なくされた人がお母さんと文芸社より出版したダンシングライフという本を元笹野会員と本販売の協力をする機会が出来ました。三上昌代さんは腰に1本の注射で立つ事が出来なくなり車椅子生活、言語障害、四肢麻痺の著者でした。会場におりますと障害者に対する福祉ボランティアや各団体の奉仕の輪の協力に頭の下がる思いでした。今回、本の販売に協力する事が出来たことが社会奉仕委員会として大変勉強になってさせて頂いたと思っております。その後、三上昌代さんを土別ロータリークラブへ迎え、卓話を頂き車椅子と同じ目線になって物事を見つめる大切さ。又生きる事の素晴らしさを感じ、車椅子生活・言語障害・父親の死と不幸は突然現れ、人生最悪の日は新しい出発の日、辛い涙を流しても希望があれば生きていける、生きる力が湧いてくる、苦し



みを越えてきた人の言葉で卓話を戴きました。その後名寄RCの会場で車椅子ダンサー三上昌代さん著者のダンシングライフの本の販売を行い完売しました。RI第2500地区ガバナー小船井修一ほ会長の時に名寄RCで開催されましたIMクラブ社会奉仕事業、障害を克服する為に創めた車椅子ダンスでパラリンピックで夢を実現しようとする活動に心を打たれたガバナーの言葉で、当時北見東RCでも三上昌代さん著者の本の販売をさせて頂きました。北見東RCの暖かい友情で会員と交流を深める事が出来ました。北見東RCの中山大三郎会員とは今も友情を深めています。又山本榮会員とは世界大会シンガポール大会の時に旅行を一緒にさせて頂き、元宮田会員と3名で出発。ロータリアンの出会いは今になって大変良い勉強をさせて頂いたと感謝をしております。世界大会シンガポールの出会いは、昨年釧路大会において清水RCの山口敬会員、下川RCの佐藤憲一会員、元中川RCの福島会員等は15年来の友情を深め、楽しい出会いに感謝しております。先輩達の会員同士のお互いの信頼、絆をもっと深めるこれまでのロータリーを育ててくれた先輩会員各位にバックアップをして戴き、会員家族、会員企業、地域社会に感謝をクラブの発展を願いながら親睦活動、奉仕活動を進めていって頂きたいと思っております。最後に百瀬会員元チャーターメンバーの言葉をお伝えしたいと思います。ロータリアンがすべて完全平等・対等であるという理想通り、会員の役職や入会年月日などの上下関係がほとんど感じられず、クラブや年齢を超え、親しく笑顔で出会えることは本当に幸せであるということを百瀬会員から教わっております。ロータリーの出会いと絆と言う事の大切さが今になって私76才にして始めて百瀬会員からの言葉が耳に残っております。今回の移動例会、今井会員は山口会員の紹介でロータリーに入会をしております。又私が会長の時にミューがオープンし移動例会もさせて頂いている、これも1つの出会いだった思っております。
